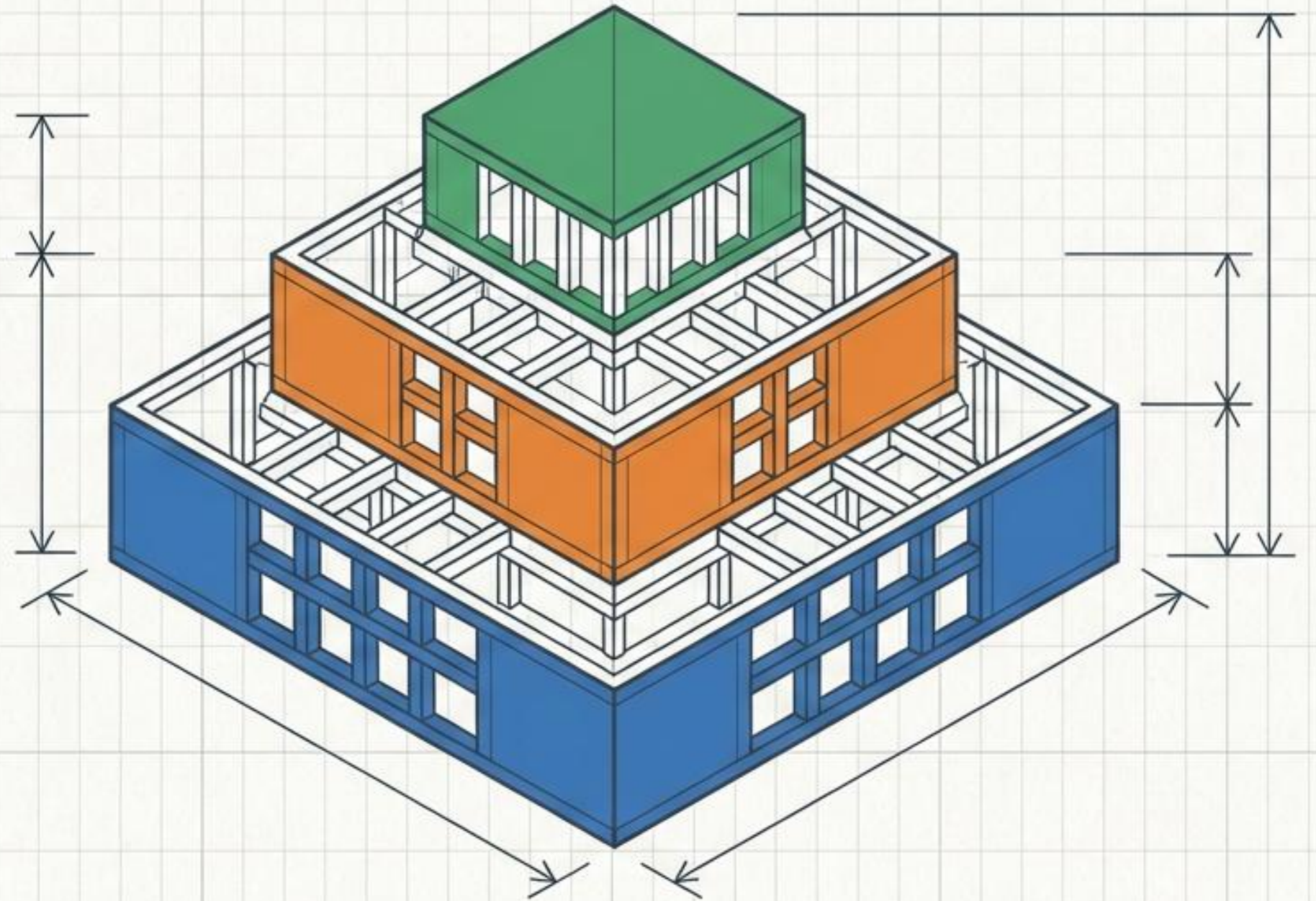


小論文・レポートのための「最強の設計図」

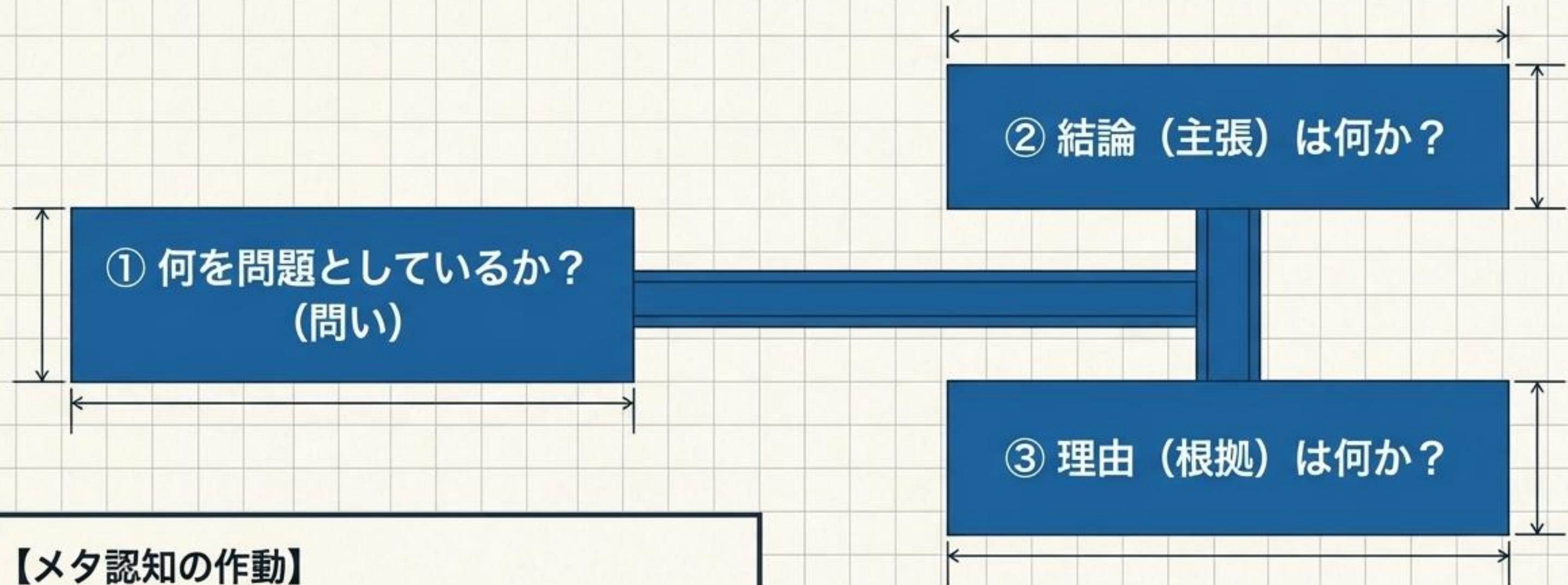
才能ではなく、3つのステップで論理を組み立てる



文章構成とクリティカル・クエッションの全貌

第3段階：評価 証拠の質を問う	⑥理由は確かか	【客観性】 伝聞ではなく、 具体的な文献や数値を示す
第2段階：精査 言葉と前提をはっきり させる	④言葉は曖昧でないか / ⑤隠れた前提は何か	【心の理論】 読み手の視点に 思い込み（バイアス）を疑う
第1段階：骨格 議論の土台を明確にする	①問い / ②結論 / ③理由	【メタ認知】 頭の中の論理と 紙の上の論理を一致させる

第1段階：議論の「骨格」を組み立てる



【メタ認知の作動】

自分の頭の中にある「結論」と「理由」が、紙の上で正しくつながっているかを確認する。

第2段階：言葉と前提の「精査」

④ 言葉の曖昧さをなくす

「子どもの成長」



それは「身体的な成長」か？
「心の理論の発達」か？
定義を明確にする。

【心の理論】

「読み手」の視点に立って、誤解の余地をなくす。

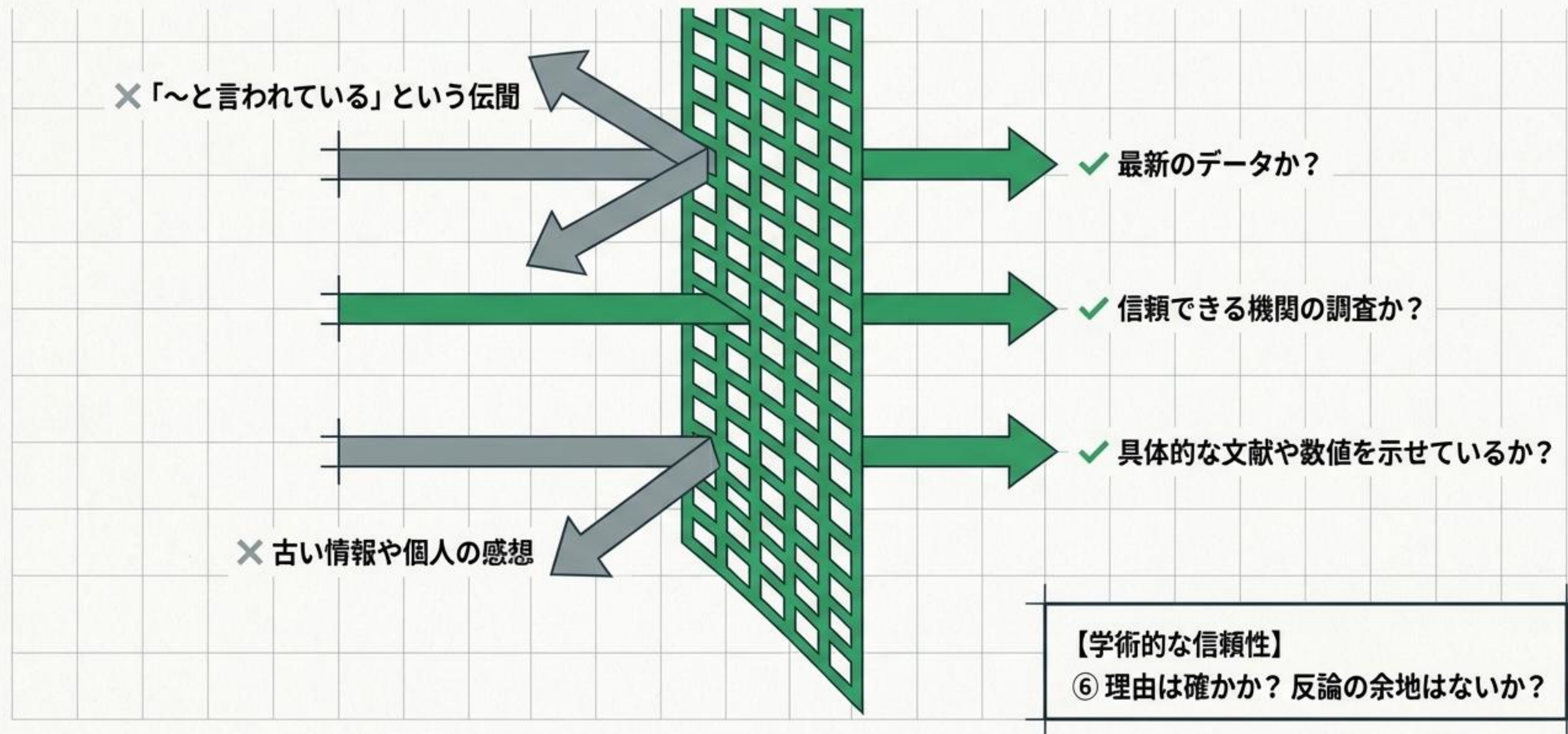
⑤ 隠れた前提を疑う

「親は子供を愛しているはずだ」



無意識の前提で議論していないか？
自分の思い込み（バイアス）を疑う。

第3段階：証拠の質を「評価」する



執筆前のセルフチェック・リスト



【骨格】 問い・結論・理由の3つが、ロジックツリーのように綺麗に繋がっているか？



【精査】 読者の視点に立ち、曖昧な言葉や「隠れた思い込み」を取り除いたか？



【評価】 「～と言われている」ではなく、信頼できるデータや文献を提示できるか？



この3つのフィルターを通せば、あなたの文章は「読まれる小論文」に変わる。